

標 題 : High-Density Lipoprotein Cholesterol and Cardiovascular Disease
HDL コレステロールと心臓血管系疾患

著 者 : D. J. Gordon, et al. [NIH(米国衛生研究所)NHLBI (国立心肺血液研究所)、他]

掲 載 誌 : Circulation 79: 8-15 (1989)

要 旨 : 1986 年のイギリス地域心臓研究(BRHS)で「HDL コレステロールと冠状動脈性心疾患との逆相関の多くは共分散の補正で除外される」と報告された。

比例ハザードモデルを用い、年齢、血圧、喫煙、BMI、および LDL コレステロールで補正して、フラミンガム心臓研究(FHS)、脂質研究診療所 - 有病率死亡率追跡研究(LRCF)、冠状動脈一次予防試験(CPPT)、複数危険因子介入試験(MRFIT)で別々に、我々はこの関連を解析した。

CPPT と MRFIT(両方とも中年高リスク者でのランダム化試験)では対照群だけを解析した。

HDL コレステロールの 1mg/dl(0.026mM)上昇は、冠状動脈性心疾患リスクの有意な低下と関連し、男性は 2%(FHS、CPPT、MRFIT)、女性は 3%(FHS)低下した。

死に至る結果が唯一記録された LRCF で、HDL コレステロールの 1mg/dl 上昇は心臓血管系疾患死亡率の 3.7%(男性)と 4.7%(女性)の有意な低下と関連した。

研究 4 件において冠状動脈性と心臓血管系の疾患リスク低下の 95%信頼区間はかなり重なっており、1.9 - 2.9%の範囲が全てに含まれた。

HDL コレステロール値は心臓血管系疾患以外の疾患による死亡率とは実質的に関連がなかった。

解析方法の違いを除いたときに、HDL コレステロール値と冠状動脈性心疾患発生率との一貫した逆相関が BRHS および 4 件のアメリカ人研究で明らかであった。
